

平成27年度行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	サイバーパトロール業務			担当部局庁	生活安全局			作成責任者
事業開始年度	平成20年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	情報技術犯罪対策課			情報技術犯罪対策課長 後藤 和宏
会計区分	一般会計			政策・施策名	7-1 情報セキュリティの確保とネットワーク利用犯罪等サイバー犯罪の抑止			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策	子ども・若者育成支援、男女共同参画			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	サイバー空間における国民の安心を確保するため、インターネット上の違法情報・有害情報に対する対策を効果的かつ効率的に推進し、サイバー空間の浄化に資する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	サイバーパトロール業務とは、一般のインターネット利用者からの通報が期待できないインターネット上の特定の違法情報等の検索収集、違法情報等のインターネット・ホットラインセンターへの通報、及び書き込み内容から18歳未満と判断される出会い系サイト利用者に対する警告メールの発信等の業務をいう。							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	36	25	22	22		
		前年度から繰越し	0	0	0	0		
		翌年度へ繰越し	0	0	0	0		
		予備費等	0	0	0	0		
		計	36	25	22	22	0	
	執行額	23	20	19				
	執行率(%)	64%	80%	86%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
	出会い系サイトに関する通報目標件数の達成【達成率100%(平成26年度)】	サイバーパトロールが通報した違法・有害情報件数(暦年)	成果実績	件	1,080	988	1,188	
			目標値	件	840	840	840	-
			達成度	%	100%	100%	100%	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	巡回したサイト投稿数(暦年)	活動実績	件	718,672	471,574	371,954		
		当初見込み	件	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	年度契約額/巡回件数	単位当たりコスト	円	31.4	43.1	51.4	-	
		計算式	円/件	22,596,000/718,672	20,330,270/471,574	19,102,124/371,954	-	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	人件費等	22						
	計	22	0					

事業所管部局による点検・改善				
	項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	都道府県境を超えるインターネット上において一般ユーザーからの通報が期待しにくい会員制サイト等の違法情報・有害情報に対する対策を効果的かつ効率的に推進し、サイバー空間の浄化に資することにより、サイバー空間における国民の安心を確保することができる。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	会員制サイト等の違法情報・有害情報に対する対策を行っており、民間等に事業を委ねることは難しい。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	サイバー空間における国民の安心を確保するため、必要な事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	必要な事業項目に絞り一般競争入札により支出先を選定しており、競争性は確保されている。
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	サイバーパトロールには、ITに関する専門的な知識が必要であり、妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	
	費目・用途が事業目的に即真に必要なものに限定されているか。		○	パトロールを行う人件費等に費用を限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	出会い系サイト・登録制サイト内等の違法情報等を監視・情報収集し、インターネット・ホットラインセンターに通報することにより、違法情報の取締りや削除措置等に役立っている。また、出会い系サイトについては、18歳未満の児童による書き込みに対し「警告メール」を送信し、犯罪被害の防止に努めている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本施策はサイバーパトロール以外手段・方法がなく効果的に実施している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	年間の件数については減少傾向にあるものの、一定の成果を上げている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	クローラを有効に活用している。
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	
関連事業	所管府省・部局名		事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	警察庁が直接外部委託しており、一月に一回検査を行い、執行状況等を確認している。		
	改善の方向性	本事業は、違法・有害情報の監視・情報収集に有効であり、引き続き実施する必要がある。また、現在一般競争入札を行っており、引き続き競争性の高い調達の実施に努める。		
外部有識者の所見				

行政事業レビュー推進チームの所見

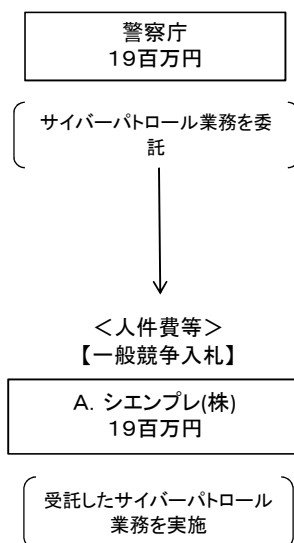
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	当初2-7	平成23年度	43	平成24年度	30	
平成25年度	71	平成26年度	65			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

A.シエンプレ(株)

E.

	計		0	計	0
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					<input type="checkbox"/> チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	シエンプレ(株)	サイバーパトロール業務	192		-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

サイバーパトロール業務の外部委託

